

第5期雄武町総合計画後期基本計画 施策評価調書（兼政策評価基礎調書）

政策目標	1	はつらつ・雄武	整理番号	16
基本施策	5	観光の振興	評価責任者	産業振興課長 横田 和幸
単位施策	2	雄武観光の魅力化		財務企画課長 佐々木幸博

1 施策の概要

基本方針	町民の協力を得ながら、滞在型観光の取り組みと、地域イベントの充実・連携を進めます。釣りや貝採取、自然鑑賞、農・水産加工などの「体験メニュー」について提供体制の確立をめざします。	
現状と課題	【現状】（平成23年度末）	【現状】（平成26年度末）
	日の出岬を中心とした観光施設の中で情報発信をしたり、秋のイベント「うまいもんまつり」を行いながら、雄武の魅力の情報発信を行っている。	日の出岬を中心とした観光施設の中で情報発信をしたり、秋のイベント「うまいもんまつり」開催等で、雄武の魅力の情報発信を行っている。また、観光協会もフェイスブック等で情報発信を行っている。
	【課題】（平成23年度末）	【課題】（平成26年度末）
	本物の食の魅力を提供をできる仕組みや滞在型観光の取組み、さらには既存資源や第1次産業を活かした観光の推進が課題であり、今後、旅行会社と連携を図り、観光客を呼び込むツアーなどを企画し観光客増加を目指す必要がある。	本物の食の魅力を提供をできる仕組みや滞在型観光の取組み、さらには既存資源や第1次産業を活かした体験型観光の推進が課題であり、今後、旅行会社と連携を図り、観光客を呼び込むツアーなどを企画し観光客増加を目指す必要がある。

2 基本施策指標

指標1	指標名	観光の満足度					
	定義等	まちづくりアンケートにおける観光の満足度					
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						25%
	実績値		17.40%				
指標2	指標名						
	定義等						
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						
	実績値						
指標3	指標名						
	定義等						
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						
	実績値						
指標4	指標名						
	定義等						
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						
	実績値						
指標5	指標名						
	定義等						
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						
	実績値						
指標6	指標名						
	定義等						
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						
	実績値						
指標7	指標名						
	定義等						
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						
	実績値						

3 単位施策を構成する事務事業の評価結果等

【貢献度の区分 A：高い B：やや高い C：やや低い D：低い E：なし】

No.	事務事業名	担当係名	26年度 決算額 (千円)	総合評価	今後の 展開方向	単位施策 への貢献 度
①	観光施設維持管理事業	商工観光係	5,342	A	継続/現状維持	A
②	メモリアル広場等維持管理事業	商工観光係	3,111	A	継続/現状維持	A
③	サンライズ王国運営助成事業	商工観光係	300	B	継続/現状維持	A
④	メモリアル広場整備事業	商工観光係	4,439	A	終了	A
⑤	日の出岬整備事業	商工観光係	3,424	B	継続/内容の見直し・変更	B
⑥	【再掲】観光協会運営助成事業	商工観光係	9,620	A	継続/現状維持	A
⑦	【再掲】雄武町才ホーツク紋別空港利用促進助成事業	企画調整係	33,459	A	継続/現状維持	A
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						
⑬						
⑭						
⑮						

4 施策の個別評価【A：評価が高い B：やや高い C：やや低い D：低い】

評価の視点	評価結果	理由、説明等
① 妥当性	A	雄武観光の魅力あふれる事業展開を推進する上で必要な施策である。
② 有効性	B	魅力的な観光拠点のあり方及びより有効な活用方法を調査・研究することが必要であり、構成する事務事業の実施は、良好な景観を維持するためには概ね有効である。
③ 効率性	B	既存の観光資源を活かした中で、今後魅力的な観光拠点のあり方を調査・研究する具体的な進展とはなっていないものの、維持管理を専門業者に委託するなど、概ね効率性が図られている。
④ 公平性	A	地域観光振興に有益的に活用されていることから、町民の理解が得られているものと判断する。
⑤ 町民意見の反映	B	特に町民の意見を聞く場は設けていないが、関係団体との協議等により反映している。

5 総合評価【A～D】

A：政策目標の達成に効果的であり、現在の施策を継続することが必要 等

B：政策目標の達成に効果的であるが、具体的な課題の解決に向けて一部取組を改善するなど、施策を充実することが必要 等

C：政策目標がほぼ達成されていることから、施策が一定の役割を終えつつあり、終期を見据えて縮減することが必要 等

D：(1)政策目標の達成に効果的であるが、事業構成が十分ではなく、新たな事業構築など取組を全体的に見直すことが必要 等

(2)政策目標の達成に向けた効果が認められないことから、施策の廃止も含めて抜本的に見直すことが必要 等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
B	B	
魅力ある観光の事業展開を図っているところであるが、体験型観光の推進を図るためには、今後においても必要不可欠な施策である。しかし、「体験メニュー」づくりの体制構築に至っていないため、今後検討を必要とするものである。	同 左	

今後の方向性

継続/拡充	継続/拡充	
各関係機関との連携を強化し町民を巻き込んだ事業展開を拡充し、「体験メニュー」づくりの検討が必要である。また、旅行会社と連携を図り、観光客を呼び込むツアーなどを企画し観光客増加を目指す必要がある。	同 左	

*今後の方向性の区分

○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○終了 ○休止 ○廃止